

図書だより

2025年11月 Vol.6

原山台中学校図書室

★秋深しの読書

秋も深まり、木の葉が色づく季節になりました。11月は「読書週間」や「文化の日」など、本に親しむ機会がたくさんあります。本を通して、いろいろな文化を知り、たくさんの人の考えにふれてみましょう。11月9日までは読書週間です。11月下旬にテスト期間に入りますが、休憩に短いお話をどうぞ！



★新着図書より

＜書影は出版社のHPより＞

『青春サブリ。このまま終わるたくない』 文:オザワ部長／田中タ子／

日比野恭三／近江屋一朗／菊地高弘 絵:くじょう ポプラ社

5話収録した部活の実話です！1話15分で読みやすいので朝読にも最適！その中にある商業高校のブライダル部のお話に感動しますよ。



『青春サブリ。新しい一步を踏み出す』 文:青木美帆 絵:くじょう ポプラ社

大阪府出身の少年のバスケ人生を描いた中・高・大学時代の実話です。

現在、10代にメンタルヘルス(心の健康)の重要性を伝える活動を行っています。バスケ好きな人、気になる人読んでみてください。



『僕には鳥の言葉がわかる』 著:鈴木俊貴 小学館



シジュウカラが単語を組み合わせて会話していることを初めて解明した研究者による科学エッセイです。国語の教科書にも出て来る著者ですが、今年に発行されたので、興味のある人はぜひ、手に取ってみてください。

『やなやつ改造計画』 著:吉野万理子 あすなろ書房



この本はある中学生が生徒会長に立候補することを決めてから、起こるいろいろな出来事の物語です。生徒会長になれたでしょうか？自分を変えたい人に、励ましてくれる言葉がいっぱいまっています。

学校図書室からのお願い

貸出期間を過ぎている本を持っている人は(督促状を配ります)
本をパソコンで登録しますので、至急、返却してください。
返却時は、カウンターの上のかごに本を入れてください。

★前期文化委員のおすすめの本を紹介します★

わたしのおすすめの本

*書名 ラーゲリより愛を込めて

*作者・著者名 辺見じゅん

*出版社 文藝春秋

*おすすめポイント

第二次世界大戦後、捕虜となりシベリアのラーゲリで捕虜生活を送る山本幡男たち。そんな彼らは帰国(ダモイ)を信じて毎日必死に生活している。家族との別れ、余命宣告、様々な試練を乗り越えた先にまっている結末に思わず涙が流れます。

R. Y.

★映画版です。原作:「収容所(ラーゲリ)から来た遺書」

わたしのおすすめの本

*書名 エジソン いたずら大好き発明王

*作者・著者名 金井正雄

*出版社 KADOKAWA

*おすすめポイント

私のおすすめは、本の内容のエジソンの行動力と考え方です。エジソンはおどろくようなことばかりで、あこがれてしまう人です。それもまたがでまとめられているんです。歴史人物が好きな人は、その人の名言などが書かれているので、この本をおすすめします。

K.

★この学習シリーズ人物伝記は学習マンガコーナーにまとめています。

わたしのおすすめの本

*書名 天久鷹央の推理カルテ

*作者・著者名 知念実希人

*出版社 実業之日本社文庫

*おすすめポイント

医者の天久鷹央が、「診断困難」とされた病を助手の研修医小島遊とともに解決していく話。医学的な知識を学べておもしろい。登場人物の心情やドラマも描かれていて、読んでいるうちに物語に引き込まれていきます。

K.

わたしのおすすめの本

*書名 人間失格

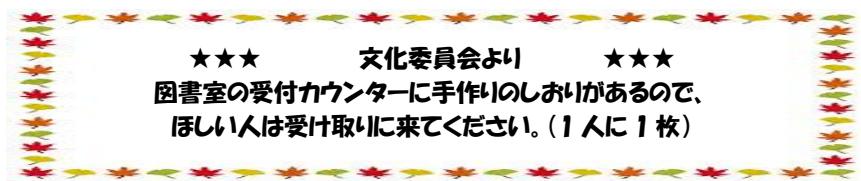
*作者・著者名 太宰治

*出版社 文響社社

*おすすめポイント

主人公大庭葉蔵は人とうまく関わらず「同化」を演じながら生きますが、酒や女性に溺れて次第に破滅していきついには「人間失格」となる姿を描いた物語でとても考えさせられる冊です。

Q.



★★★ 文化委員会より ★★★
図書室の受付カウンターに手作りのしおりがあるので、
ほしい人は受け取りに来てください。(1人に1枚)